

日本初、データサイエンスを活用した地域観光振興を目的に、
くまもと DMC がデータビークルと製品導入を含め協力体制を構築

日本で初めて地域銀行と自治体が出資する「日本版 DMC（目的地型観光振興会社）」のくまもと DMC は、熊本県及び各地域への観光客増を目的とするマーケティング活動の為に「データサイエンス」を活用することとしデータビークルの製品を導入、観光振興専用分析データベースを構築する契約を締結しました。

くまもと DMC はマーケティング活動におけるビッグデータの活用のカギを「データサイエンスに基づくリサーチデザインを自社で行うこと」と「価値あるデータの収集と研磨」と考え、まずデータサイエンスの領域において従来必要とされる外部コンサルタントや各種のプログラム開発に時間と予算を費やすことを避け、パッケージソフトで安価に短期間で実現することを検討した結果、データビークルのパッケージソフトウェア「Data Diver（データダイバー）」、「Data Ferry（データフェリー）」を採用することを決定しました。

次にデータビークルと協議し、価値あるビッグデータを持つ eBASE（商品詳細データ）、NAVITIME JAPAN（目的地検索データ）、Agoop（スマートフォン GPS データ）、カスタマー・コミュニケーションズ（ID-POS データ）の 4 社からデータを購入。それに加えて諸外国の経済データベースをデータビークル社の分析業務専用データ統合ソフト「Data Ferry」で研磨し作成します。これら 5 種類のデータから観光振興専用分析データベースを構築し、「Data Diver」で分析することでデータサイエンスに基づいた知見を観光ビジネス、地方製品の販売に活かし地域の活性化を実現します。

また、この取組には拡張性、堅牢性に優れたマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォームである Microsoft Azure を活用いたします。これらの一連の業務はビジネス書ベストセラー「統計学は最強の学問である」の著者である西内啓と西内が役員を務めるデータビークルが全面的に支援します。

今後、くまもと DMC ではビッグデータに基づきデータサイエンスを活用した地域観光経営を行ないたいとする自治体や DMO などと協力し、調査・分析の受託やコンサルティングを行なってまいります。

・株式会社くまもと DMC

<http://k-dmc.co.jp/>

・株式会社データビークル

（データ分析ソフト・Data Diver、データ分析専用データ統合ソフト・Data Ferry の提供、人材育成等）

<http://www.dtvcl.com/>



・ **日本マイクロソフト株式会社**

<https://www.microsoft.com/ja-jp/>

【エンドースメント】

『日本マイクロソフトは、このたびの株式会社くまもと DMC 様と株式会社データビークル様による「データサイエンスを活用した地域観光振興事業」への取り組みを心より歓迎いたします。今回の協業を通じて、自社内に蓄積されるデータだけでなく、データホルダー各社が提供するビッグデータを自由に組合せ、活用できるようにすることが、観光地としての新たな市場価値を生み出すポイントになると考えております。

本取り組みを柔軟性、拡張性、堅牢性の高いマイクロソフトのクラウドプラットフォームである Microsoft Azure により下支えすることで、熊本県の観光事業の発展、さらには復興へのご支援に繋がるものと確信しております。

日本マイクロソフトは引き続き両社と連携し、クラウドを通じたサービスの拡充を図ると共に、IT インフラ活用の観点から他の自治体や DM0 への展開をご支援してまいります。』

日本マイクロソフト株式会社 執行役 デベロッパーエバンジェリズム統括本部長 伊藤かつら

・ **データ提供を行うデータホルダー各社**

株式会社 Agoop (スマートフォン GPS データ・ソフトバンクグループ)

<https://www.agoop.co.jp/>

【エンドースメント】

『株式会社 Agoop は、株式会社くまもと DMC 様と株式会社データビークル様が共同してビッグデータとデータサイエンスを活用した熊本観光復興に取り組むことに歓迎の意を表明いたします。

株式会社データビークル様の分析ツール Data Diver と Data Ferry にスマートフォンアプリから取得している弊社の位置情報ビッグデータを組み合わせ熊本県の観光観光事業の発展がさらに高められるものを期待しております。』

株式会社 Agoop 営業企画本部 本部長 福岡慶太郎

株式会社ナビタイムジャパン (目的地検索情報)

<https://www.navitime.co.jp/>

【エンドースメント】

『株式会社ナビタイムジャパンは、株式会社くまもと DMC 様と株式会社データビークル様が共同して「目的地型観光振興事業におけるビッグデータの分析とその活用」に取り組むことを歓迎いたします。

株式会社データビークル様の分析ツール Data Diver と Data Ferry において、訪日外国人の滞在や移動実態を国籍別に分析できる「インバウンド GPS データ」と、交通や観光の需要分析が可能な「経路検索条件データ」の2つのデータを活用いただくことで、熊本県の観光振興と復興に役立つことを期待しております。』

株式会社ナビタイムジャパン 交通コンサルティング事業部



eBASE 株式会社（商品詳細データ）

<http://www.ibase.co.jp/>

【エンドースメント】

『弊社は、様々な業界向けのサプライチェーンにおける「企業間の商品情報交換ソリューション」のプラットフォーム提供を行っています。』

今回発表された株式会社くまもと DMC 様と株式会社データビークル様とはデータ分析にご活用頂く、リッチな商品情報提供を通じ、お客様のビジネス成果が最大化することを期待しています。』

eBASE 株式会社 代表取締役社長 常包浩司

カスタマー・コミュニケーションズ株式会社（ID-POS データ）

<http://www.truedata.co.jp/>

【エンドースメント】

『カスタマー・コミュニケーションズ株式会社は株式会社くまもと DMC と株式会社データビークルが共同して取り組まれる「目的地型観光振興事業におけるビッグデータの分析とその活用」事業に賛同し、これを歓迎いたします。』

当社は、日本最大級の消費者購買データ「TRUE DATA」を提供するビッグデータプロバイダーです。これらの購買ビッグデータを、データビークル社の分析ツール「Data Diver」と「Data Ferry」を通じてご活用いただくことで、熊本県の観光振興と復興に貢献できますことを期待しております。当社は、今後もデータビークル社と連携を強化し、地方創生に向けてより一層高い価値を提供できるよう努力いたします。』

カスタマー・コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長 米倉裕之

（順不同）

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社くまもと DMC

東京 PR オフィス 柳原（メール：yanagihara@k-dmc.co.jp 電話：080-5540-0695）

株式会社データビークル

広報担当 岩井（メール：p-info@dtvcl.com 電話：03-6455-7754）